

# 令和4年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第2回）【概要】

日 時：令和4年10月6日（木）午前10時から正午まで

会 場：中庁舎9階 企画管理部会議室

## 1 出席委員（敬称略・名簿順）

谷口 和巳、永島 克彦、篠木 賢正、本宮 照久、櫻井 比呂樹、三浦 明久、  
佐久間 勝彦、小熊 隆（会長）、濱詰 大介

## 2 次第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会挨拶

(3) 報告

① 令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）の概要について

② 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜における学力検査の実施教科及び出題方針等について

③ 「令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査結果」について

(4) 協議

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

② 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

③ その他

(5) 閉会のことば

## 3 協議内容

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

→調査書について

・大学側からの意見としては、現在、総合型選抜が開始され、調査書の評定平均や学力の評価を主体的に評価することは難しいと感じている。面接、検定試験、ボランティア活動も評価を加点として考え、多面的に評価する予定である。高等学校の評価方法の変化により、調査書の数値化は困難だと感じる。

・評定について、高校側としては、受検生の中学校での活動を評価したいと取り上げているが、評価のばらつきや公平性については各高等学校で、評定平均値を見据えていくことが大事。

・評定値に限っては、一度の検査だけでなく、中学校3年間での学習活動の積み重ねを評価しつつ、評定そのものを公平に学習評価の結果としてとらえる。

・全体的に評定の5が増えているか。評価平均値は上がってきている。

- ・調査書については、非常にわかりづらい位置付けにある。高等学校側が多面的に評価してくれることはありがたい。中学校3年間での活動の積み重ねを評価したものが数値化されるが、学校ごとにばらつきがあるのはどうか。公平性を保てた制度があればいい。
- ・観点の評価が3観点になったものを利用することに注目している。令和6年度入学者選抜でどうなるか。全体としては、ほとんどが3になり、評価は今より下がると予想している。
- ・今までは95の数値を基準として評価していたことにより、中学校側は今もこれを基準にしているのではないだろうか。評定に関しては、保護者に対する説明を丁寧に昨年度より行っている状況である。今年度の入試でもどういう数字になるか、ばらつきが心配だが注目している。
- ・調査書に関しては、子供たちの良いところを記載するということで、不利益にならないように作成している。保護者にも内容確認を年2回行っている。
- ・中学校では、評価の精度を高めようとして、学校単位、市町村単位等、様々な場所で研修や自主的な勉強会を行っている。
- ・表を見る限り、令和4年度から数字が上がっているが、極端に変化しているわけではないので、中学校側が評価の仕方について努力しているのが見受けられる。ただ、今年度の中学3年生と来年度の3年生では、評価方法（学習指導要領）が違うので、その動向をしっかりとみていかなくてはならないと感じている。また、調査書の内容については、説明会を開いて、保護者及び子供自身に説明をしている。
- ・調査書と学力検査の結果、両者の組合せが必要だと思っている。
- ・配布資料P. 8の評定の数値をみていくと、ばらつきがあるので、事務所の圏域を越えた勉強会等をして、できるだけばらつきの調整を検討いただければと思う。

#### →2段階選抜について

- ・2段階の選抜は、保護者に2次募集と勘違いされないか。実際、高校にとって、2段階の選抜という方式が、どのような生徒を育てたいかという目的にマッチするのか。また、今後この選抜をする高校が増えていくのか。
- ・かつて公立高校では推薦入試があり、推薦入試で入学した生徒と学力検査を経て入学した生徒とを、1つの集団としてそれぞれ育てるときに、よい効果も弊害もあった。2段階の選抜は、多様な生徒を入れたいとき、また学力を重視したいというときに、この制度が使える。（募集人員の）最後の20%をどうやってとるのか、という特色の面で示されているが、これが中学校側にも高校側にも十分に伝わっていないのではないか。  
「2段階選抜はこのように使える。」ということをもう少しアピールしてほしい。
- ・2段階の選抜の特色としては、入学者選抜の配点の幅を、ある程度高校で定めることができる。更に、幅広い生徒がほしい学校は2段階の選抜を行う考えをもっている。

② 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

- ・教育委員会が5年前ぐらいに、2月下旬に入試を一本化して行うと言っていることから、C案、C'案はあり得ない。県教委も中学校の方も首都圏はどうか、会議に出ていると思うが、他都県では検査を日曜日に行っているところもある。千葉は、検査日が土日と重ならないように、日にちを変えている。休日を他の日に振替していないため、検査日が何回も動くことになっている。
- ・振替休日を設け、21、22日で固定化すればよい。そのことについて諮ってもらいたい。
- ・日程案については、原案を持ち帰り、次回の協議会において、意見をまとめる。

③その他

- ・なし